

岡山芸術交流2025

令和6年4月～令和7年3月(令和6年度事業費:25,000千円)

【目的】

3年に1度、岡山城・岡山後樂園を中心とした歴史文化エリアで、世界最先端のコンセプチュアルアートを展示する国際現代美術展「岡山芸術交流2025」開催を通じて、官民協働による新たな魅力づくりや岡山市の新たな都市ブランドの構築、若年層のまちづくりへの参加促進等を行います。

【内容】

「歩いて楽しむ」「資源を活かす」「世界を見る」「人を育む」の4つをコンセプトにより、2025年開催に向けて諸準備を行います。

○現代美術の国際展

アーティストック・ディレクターや参加作家による現地リサーチを行います。

○パブリックプログラム

小中学校への出前講座、子ども向け映像制作や鑑賞ナビゲーターの養成などを行います。

○アーティストック・トランスレータープログラム

アーティストならではの新しい視点で市民・県民を巻き込むプロジェクトを実施します。

○連携プログラム

官民で連携し、子ども壁画制作ワークショップ等を実施します。



【パブリックプログラム】小中学校への出前講座
(過去作品の画像を使った対話型鑑賞)



【連携プログラム】子ども壁画制作ワークショップ
(新庁舎建設工事仮囲いを活用した壁画制作)